

# 旭労災病院ニュース

病院情報誌 第 61 号 平成 22 年 12 月 1 日発行

発行所：旭労災病院

〒488-8585

尾張旭市平子町北61番地

TEL 0561-54-3131

FAX 0561-52-2426

<http://www.asahih.rofuku.go.jp/>

## 禁煙治療について

呼吸器科副部長 太田 千晴



喫煙を「ニコチン依存症」という病気としてとらえ、禁煙治療を保険診療で出来るようになってきました。1)ただちに禁煙しようと考えていること、2)ニコチン依存症のスクリーニングテスト(TDS)が5点以上であること、3)プリンクマン指数(1日の喫煙本数×喫煙年数)が200以上であること、4)禁煙治療を受けることを文章により同意していること、の4つの条件すべてに該当した外来患者が保険適用による禁煙治療の対象者となります。3ヶ月間に5回(初回、2・4・8・12週間後)の診察を行い、喫煙・禁煙状況や離脱症状に関する問診、呼気一酸化炭素濃度の測定、禁煙継続にあたっての問題点の把握とアドバイス、禁煙補助剤の処方で行います。

当院で使用している禁煙補助剤はバレニクリン(チャンピックス<sup>®</sup>)です。脳内の $\alpha 4 \beta 2$ ニコチン受容体に結合し、少量のドーパミンを放出させ、禁煙に伴う離脱症状やタバコに対する切望感を軽減する(作動薬としての作用)と同時に、ニコチンが受容体に結合するのを阻害し、喫煙により得られる満足感を抑制(拮抗薬としての作用)で、禁煙効果を高めます。ニコチンを含まないため、ニコチン代替療法が禁忌となる不安定狭心症・心筋梗塞急性期などの循環器疾患や脳血管障害回復初期の患者にも使用可能です。プラセボに比べ、禁煙率が約3倍高まるというデータが出ています。

当院では、毎週金曜日午後2時30分から完全予約制で禁煙外来を行っています。現在は、10月からのたばこ税増税に伴う全国的な禁煙外来受診者の増加からバレニクリンの供給不足となっており、新規患者受け入れを一時中断していますが、来年1月頃より受付再開の予定です。禁煙外来受診を希望している患者様がありましたら、当院呼吸器科外来まで御連絡下さい。保険診療の適応かどうか問診をした後、予約を取らせていただきます。

# Quality of End of Life

## 旭労災PCT (Palliative Care Team)緩和ケアチーム活動準備中



外科部長 谷村 葉子

平成 18 年がん対策基本法が制定され、国のがん対策推進基本計画では、がんによる死亡者の減少とならんで、すべてのがん患者およびその家族の苦痛の軽減ならび療養生活の質の維持向上が全体目標として掲げられています。われわれは、手術、化学療法そして、緩和ケアと包括してがん診療に携わっておりますが、化学療法中の患者さんに、どういつタイミングで緩和ケアを切り出すかは判断が難しいこともあります。

最近の New England Journal of Medicine に転移性非小細胞肺癌の患者に対して、診断直後の早期の緩和ケア介入についての報告がありましたので紹介します。早期の緩和ケア介入群と、コントロール困難な症状出現後の緩和ケア介入群との間で、Quality of Life、抑うつ気分、Decision making、Survival について比較した nonblinded, randomized, controlled trial です。新たに診断された転移性非小細胞肺癌症例を対象に、早期介入群では登録後 3 週間以内から緩和ケアチームが介入します。標準的なシスプラチンベースの化学療法は両群とも同様に行っています。Quality of Life は FACT-L scale で、抑うつ気分は HADS, PHQ-9 scale で 12 週後の時点で評価比較し、早期介入群で良好な結果でした。さらに、早期介入群では、死亡前 2 週間以内の化学療法、ホスピスケア、救急外来受診といった aggressive な End of Life care を受ける割合が少なく、また、蘇生処置に関する文書同意を残す割合が高かったと報告しています。興味深いのは両群において Overall survival に有意差はなかったものの、早期介入群では 2 カ月 median survival が長かった(晩期介入群 8.9 カ月に対して早期介入群 11.6 カ月)(図)という点です。早期緩和ケア介入は、統計上 Survival と Quality of life への効果の点で、First line の化学療法と同程度であると考察されており、考えさせられました。

当院でも医師、緩和ケア認定看護師、薬剤師からなる緩和ケアチーム(PCT: Palliative Care Team)がこの夏に発足し、近々活動開始予定です。当面は院内コンサルテーションを基本とした活動がメインですが、今後さらに充実した緩和ケアが提供できるよう取り組みます。

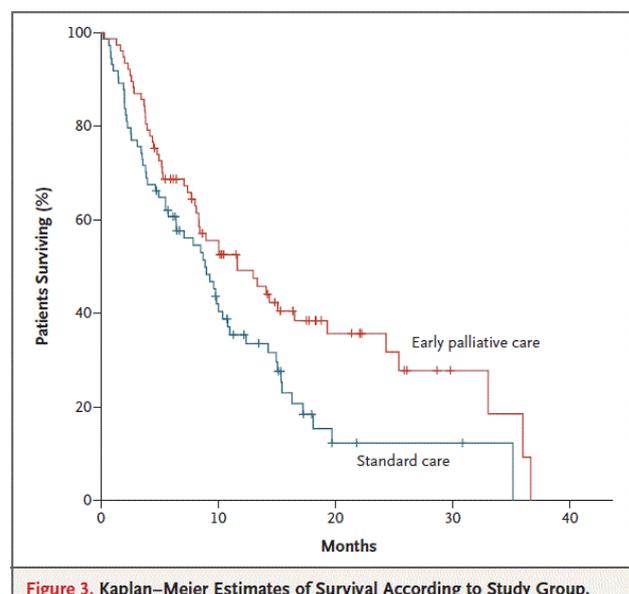


Figure 3. Kaplan-Meier Estimates of Survival According to Study Group.

参考文献: Early Palliative Care for Patients with Metastatic Non-Small-Cell Lung Cancer. Jennifer S. New England Journal of Medicine 363; 8 August 19, 2010